

5.5.31

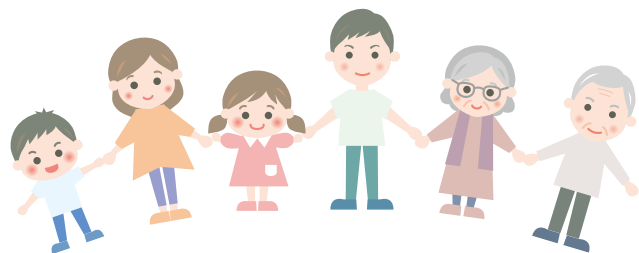
佐倉市

教育センターだより

Vol.60

令和5年5月31日発行／佐倉市教育センター／TEL.043(486)2400 http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/13-6-0-0_6.html

大人の力をつなげる



佐倉市教育センター所長 松原 和弘

各小中学校及び幼稚園において、令和5年度が無事スタートしました。コロナ禍による制限も大部分が解かれ、各学校は様々な工夫を凝らしながら、『新しい形』での教育活動を展開しています。現場にはコロナ蔓延以前の活気が戻ってきているようにも感じます。

今から3年程前の令和2年2月28日。全国的な新型コロナウイルスの広がりを受け、日本政府は各都道府県教育委員会に、小中学校および高等学校などを臨時休校とするよう要請しました。これを境に学校現場は大きく変わっていきました。登校が再開された後は、分散登校や授業の制限、行事の削減・縮小、部活動の停止や大会・コンクールの中止等々…、これまで“あたりまえ”に行ってきたことが全くできなくなってしまいました。全校児童・生徒が一堂に会する機会は一切なくなり、子供たちがじゃれあって遊ぶことさえも敬遠されるような状況もありました。加えて、先生も友達もマスク姿、目元と声色だけで相手の気持ちを伺い合うコミュニケーション。多感な子供たちにとって、この3年間の影響は少なくないと思います。

元気いっぱいな子、おとなしい子、おしゃべりな子、口数が少ない子、スポーツが好きな子、音楽が好きな子…どんな子も大小の違いはあるかもしれませんが我慢や不安、苛立ちや諦めなど、心のどこかに様々なわだかまりを抱えているのではないのでしょうか。これも「コロナ禍」であると私は考えます。

子供たちの笑顔、パワーは偉大です。周りの空気を一変させ、大人も元気にしてくれます。学校現場では、子供たちのエネルギーと学校の工夫や努力、そしてご家庭の支えによって、一見活気が戻ってきているように見えます。しかしながら、そんな中でも我々大人は、子供たちの心の奥底にあるかもしれない「コロナ禍」に目を向ける必要があります。

また一方で、学校に行くことや、部活動や行事に熱中することが“あたりまえ”ではなくなった状況に、心のどこかで安堵した子供がいることも事実です。これまで、学校等における集団での活動に違和感や難しさを覚えていた子供にとっては、学校での“あたりまえ”から解放される大きな転換だったのかもしれません。

このように、子供たちにはそれぞれの見方や感じ方があり、思いや悩みも人それぞれです。私たち大人は、関わる全ての子供の変化やSOSにできるだけ早く気づき、寄り添い、その子に合った支援を進めていかなければいけません。効果的な支援には家庭・学校・地域等が多角的に子供たちを見守り、共に考え、協力していく体制づくりが重要です。佐倉市教育センターは「佐倉の子供たちのために周りの大人の力をつないでいく」そんな存在でありたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度佐倉市学習状況調査 ～学力向上に向けた授業改善のために～

令和4年度佐倉市学習状況調査について、基礎基本に関する問題の正答率と授業改善の手立てをまとめました。また、児童・生徒の学習意識調査により、「わからないことを自分で調べること」と、学力との相関関係を調べました。ここでは調査結果の一部を掲載しています。

基礎基本の結果と手立て

国語 漢字の読み書きや言葉の使い方についての問題

学年	正答率が高い問題		正答率が低い問題	
小学2年	海 ※読み	97.8%	ティッシュ ※書き	79.1%
小学5年	感謝 ※読み	98.8%	栃木県 ※書き	67.5%
中学1年	稼ぐ ※読み	98.3%	補う ※書き	40.7%
中学3年	光沢 ※読み	97.5%	署名 ※書き	38.0%

手
立
て

- 音声言語を文字言語へ表す練習を日々の学習の中で繰り返し行う。
- 既習の漢字は積極的に使うとともに、文の意味を考えながら、漢字を適切に使えるようにする。
- あまり日常では使わず、画数の多い漢字は、授業の中で、継続して取り扱っていく必要がある。

算数・数学 計算や図形などの基礎的な内容についての問題

学年	正答率が高い問題		正答率が低い問題	
小学1年	19-5	95.0%	15-4-1	83.2%
小学5年	$1/3+2/5$	90.3%	1m^3 は何 cm^3 か	72.4%
中学1年	$3x-x$	84.7%	$4x-9+6x-1$	67.6%
中学3年	$(x+4)(x-4)$ の式の展開	89.9%	x^2-25y^2 の因数分解	70.1%

手
立
て

- 誤答例をもとに、間違いの原因は何かを話し合う活動を取り入れる。
- 単位の相互関係については、数学的活動を通して、量感を伴った形で、理解できるようにする。
- 公式を導き出す過程を大切に、なぜそうなるのかを児童・生徒に考えさせる場面を設ける。

理科 物質・エネルギー・生命・地球の基礎的な内容についての問題

学年	正答率が高い問題		正答率が低い問題	
小学3年	ゴムの力の働き	95.5%	太陽の動き	63.8%
小学6年	燃焼時の空気の流れ	90.9%	ものが燃えるときの様子	60.1%
中学2年	地層のでき方や流水のはたらき	87.8%	オームの法則の理解	67.4%

手
立
て

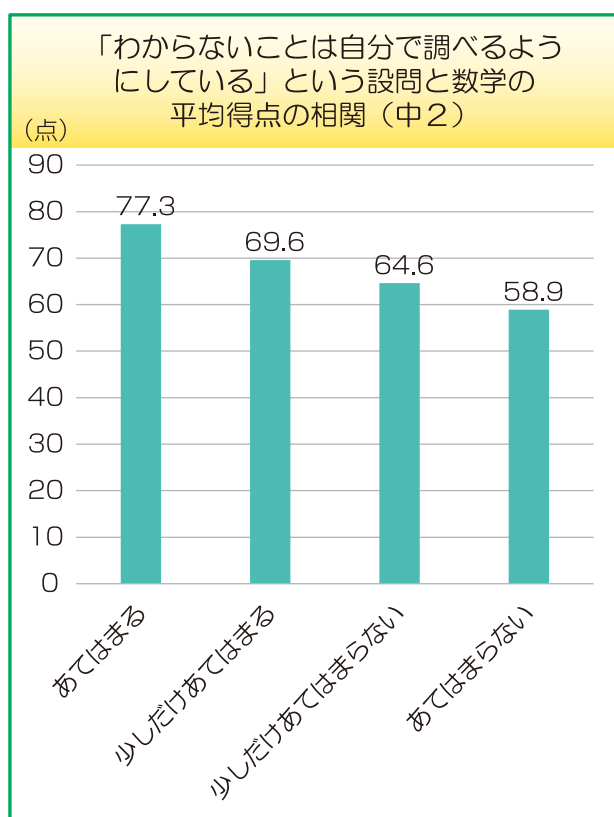
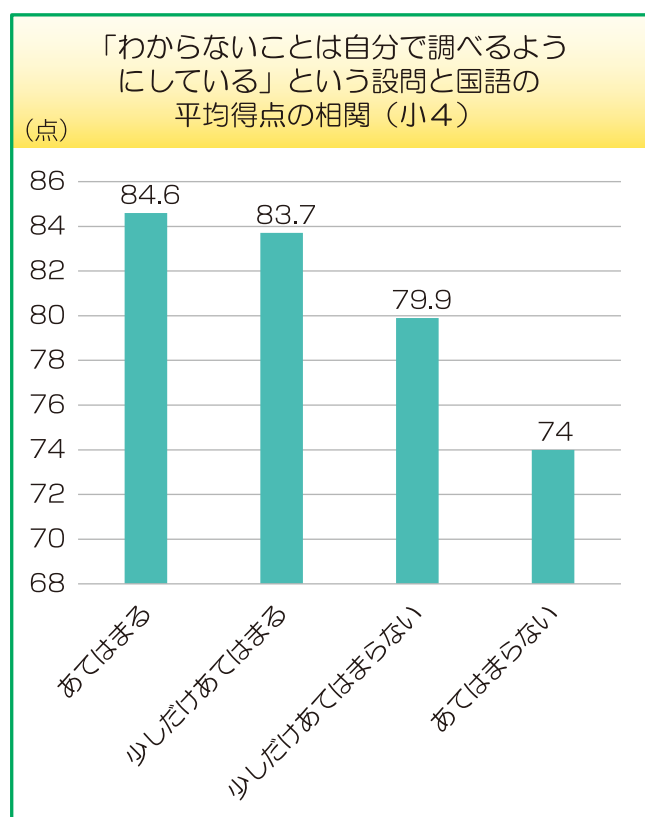
- 自分の考えを書くために、生活経験や体験を基にした根拠のある予想、結果を基に考察を自分の言葉で書くといった活動を授業に取り入れる。
- 実験から得られた結果を正確に捉えさせたり、キーワードを用いて考察を考えさせたりするような指導をしていく必要がある。

学年	正答率が高い問題		正答率が低い問題	
中学1年	一般動詞の否定文	91.3%	一般動詞の三人称単数	34.4%
中学3年	現在完了のリスニング	98.8%	英作文	55.6%

手立て

- 対話を繰り返し練習させ、日常の授業の中で、自己表現する機会をつくる。
- 定期的に英作文を書く機会を取り入れ、繰り返しのトレーニングをすることで、知識の定着を図る。

学習意識調査より ～わからないことを調べる子にするために～



まとめ

上のグラフは、児童生徒を対象にした学習意識調査の一部です。「わからないことを自分で調べるようにしている」という問いに肯定的な回答をした児童生徒は、基礎的な学力が高い傾向にありました。「自ら調べる」という主体的な活動によって得られた知識は、与えられただけの知識に比べ、活動や思考が伴うため、定着しやすいと言われています。限られた学習時間の中で、「自ら調べる」時間の確保をすることが大切です。



教育センター事業

学力向上推進事業

- ・佐倉市学習状況調査
- ・好学チャレンジプリント作成
- ・全国学力・学習状況調査
- ・教育課題調査研究

教育相談事業

- ・ルームさくらの運営
- ・教育電話相談室の運営
- ・心の教育相談員配置
- ・学校教育相談員の活用推進

特別支援教育推進事業

- ・就学指導・就学相談
- ・特別支援教育関連
- ・特別支援教育支援員配置・看護師配置

道徳教育推進事業

- ・佐倉学道徳副読本
「佐倉の道徳」活用推進
- ・佐倉学道徳教材の作成

学校図書館活性化事業

- ・学校図書館司書研修会
- ・学校図書館担当者会議
及び研修会
- ・学校図書館司書派遣

インクルーシブ教育システム推進事業

- ・合理的配慮に基づく支援への助言
- ・言語通級指導教室の運営

教育センター普及振興事業

- ・センターだよりの発行
- ・センター報告会の開催

特別支援教育へのサポート ～適切な支援による着実な成長を～

発達相談

担当の学校教育相談員：山辺浩子・谷上千秋・高澤正枝
学校支援コーディネーター：野老優子・笹岡良雄

学校（園）生活や家庭生活でうまくいかないことが多い、勉強についていけなくなっている、発音や聞こえに心配がある等、困難さが見られる幼児・児童・生徒、その保護者を対象に相談事業を行っています。

必要に応じて保護者の承諾のもと、諸検査等を実施して、より詳しく実態把握を行い、結果に基づく適切な支援について担任の先生とも連携を図り、充実した学校生活につなげていきます。

就学相談

担当の指導主事：深澤朱美・菊地楨

保護者や学校からの就学に関する相談に応じます。学校・関係機関等と連携しながら、その子どもにとって一番適切な学びの場の選択や、適切な教育支援の内容について一緒に考えていきます。

各相談の実施日時・場所・連絡先

○相談日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）

午前10時30分～午後5時00分

○場 所 佐倉市将門町7（佐倉市立佐倉東小学校内） ○電 話 486-2400



佐倉市の教育相談事業 ～自分のできることを少しずつ～

ルームさくら

何らかの理由で学校にいけない児童生徒に対して、学習や小集団生活の場を提供しています。教室には、学校教育相談員7名を配置しています。

相談員や子供同士の交流を通して、自己肯定感を高めるとともに、一人一人が安心して生活し、社会的自立を目指して支援していきます。また、保護者・学校・ルームさくらが一体となった不登校相談のネットワークづくりを進めています。

○開設日：月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）午前10時～午後3時

佐倉市西志津4-1-2

（西志津ふれあいセンター2階）

電話 489-1002（第2・4月曜日お休み）

※小集団による活動を行っています。

コミュニケーション能力の育成や学習支援をしています。

志津教室

佐倉市栄町8-7

（佐倉市ヤングプラザ2階）

電話 484-6611

※個別活動を中心に学習支援をしています。

佐倉教室

教育電話相談

「教育電話相談室」では、市民、保護者、児童生徒など様々な方からの相談を受け付けています。経験豊富な相談員が丁寧に対応し、アドバイスをします。より専門的なアドバイスを受けられる相談窓口の紹介もしています。

電話 484-6611